



# みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第40号  
熊本市立植木小学校  
令和6年10月28日  
校長 東田 昌樹

## 子どもたちの「危険回避能力」を育てる。

332人の子どもたちが生活している学校では、どうしても怪我が起こってしまいます。

運動場で鬼ごっこをして転んだり、友達とぶつかったり、ボールが顔に当たったりして怪我をすることがあります。

怪我をして保健室に行く子どもは、ほぼ毎日います。怪我の種類で多いのが「擦り傷」と「打撲」です。4月から今まで「擦り傷」が196件、「打撲」が138件あります。怪我の多い場所は「運動場」です。運動場の怪我が229件、次いで教室の怪我が80件です。

病院に行って治療する必要がある大きな怪我があった

場合、保護者の皆様に連絡をしています。急なお子さんのお迎えと通院となるにも関わらず、対応させていただいており、感謝しています。また、大きな怪我ではなくても、首から上の怪我であれば、お迎えいただき、通院をお願いしています。

さて、29人の職員が子どもたちに大きな事故にないように気をつけています。しかし、それと同時に、子どもたち自身が事故を未然に防ぐことも大事です。

「危険回避能力」です。体育の保健「怪我の予防」を中心に授業でも学習しています。

そのような意味で言えば、小さな怪我であれば経験した方がいいこともあります。大きな事故になることを未然に防ぐ経験となり、「危険回避能力」につながります。

実際、怪我が多いのは1、2、3年生です。体のバランス感覚等が身につけていないこともあります。が、「危険回避能力」が身につけていないことが原因だと考えられます。

不審者にあつたときの「危険回避能力」は、「いかのおすし」です。(ついて「いか」ない、車に「の」らない・「お」おごえをだす・「す」ぐにげる・おとなの人に「し」らせる)

メールでもお願いしましたとおり、学校でも指導しておりますが、ご家庭でもお子さんに以下の注意喚起及びご指導のほど、よろしくお願いします。

- 不審者にあつた場合は、「いかのおすし」で行動する。
- 万が一、身体に危害を加えられたり、精神的に苦痛を感じるようなことをされたりしたときは、すぐに防犯ブザーや大声を出して近くの大人の人や家族に知らせ警察に通報してもらう。

また、次のこともお願いします。

- まずは警察に通報、あわせて学校への連絡をお願いします。

不審者情報はすぐに警察に通報すると、不審者の確保やパトロールの強化につながります。

声をかけてくる人がすべて不審者とは限りません。過剰な反応は必要ありませんが、お子さんの安全のためによりしくお願いします。



### 【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成  
～ どの子も大切にされ、どの子も成長する学校をめざして ～

